



市議会だより

しほら

*Shobara city council magazine*

第31号

■発行:平成24年8月20日

## 6月定例会

- 4p 主な議案
- 6p 議決結果
- 5p 補正予算
- 8p 一般質問

# 議会報告会を開催

(久代自治振興センター)【2P】





庄原市民会館

[平成24年度]

# 議会報告会 を開催しました

## 一 議会報告会の概要 一

庄原市議会では、議会基本

条例に基づく議会報告会を

7月2日から20日まで、延べ

12日間、21会場で開催しまし

た。市民の皆さんに日頃の議

会の活動状況を知っていただくとともに、市民の皆さんのご意見やご提言を直接伺い、議会審議へ生かしたり、議会運営の改善を図るために実施するもので、延べ369人の参加をいただきました。

班編成については、議会運営委員会ならびに総務財政、教育民生、産業建設の各常任委員会の正副委員長を班長とし、議長を除く各常任委員

会から1名を選出、3人を1組とする8班を編成しました。

報告会では、最初に「平成24年度予算等審議状況について」、「議員定数について」、

「庄原市と環境ベンチャー企業(株)ジュオン」との共同事業について「内容の説明や審議の経過について報告を行った後、質疑を受けました。その後、意見交換として、議会運営や市政全般についてなど様々な意見・提言をいただきました。

報告会でいただいた意見等については、現在取りまとめを行っています。

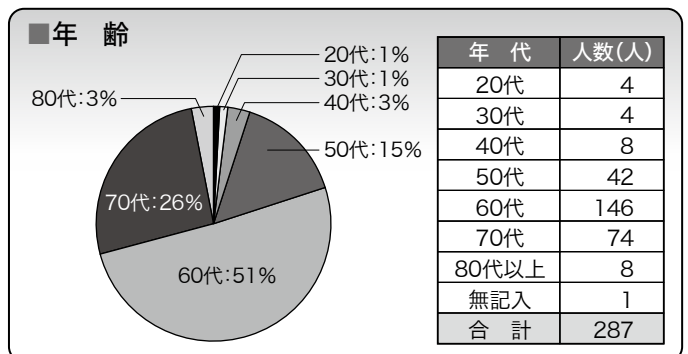
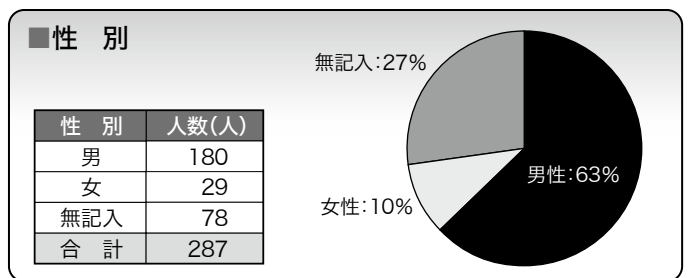
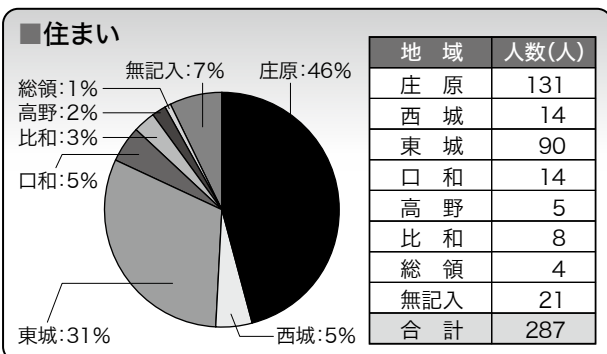
報告会では、最初に「平成24年度予算等審議状況について」、「議員定数について」、

地域	地区	開催日	会場	参加者数
庄原	庄原	7月13日(金)	庄原市民会館	34人
	高	7月17日(火)	高自治振興センター	16人
	本村	7月10日(火)	本村自治振興センター	12人
	峰田	7月12日(木)	峰田自治振興センター	15人
	敷信	7月10日(火)	敷信地区民ふれあい広場	15人
	東	7月5日(木)	東自治振興センター	35人
	山内	7月20日(金)	山内自治振興センター	21人
	北	7月2日(月)	北自治振興センター	28人
西城	西城	7月6日(金)	西城自治振興センター	17人
	八銚	7月10日(火)	八銚自治振興センター	15人
東城	帝釈	7月6日(金)	帝釈自治振興センター	29人
	小奴可	7月4日(水)	小奴可自治振興センター	9人
	田森	7月11日(水)	田森自治振興センター	13人
	八幡	7月5日(木)	八幡自治振興センター	9人
	東城	7月12日(木)	庄原市役所東城支所	16人
	久代	7月3日(火)	久代自治振興センター	22人
	新坂	7月19日(木)	新坂自治振興センター	16人
口和	口和	7月6日(金)	口和自治振興センター	21人
高野	高野	7月4日(水)	上高自治振興センター	9人
比和	比和	7月19日(木)	比和自治振興センター	10人
総領	総領	7月6日(金)	総領自治振興センター	7人
合計			21会場	369人

## 会場で配布回収した 議会報告会アンケートから

### [アンケートの結果]

- 回答者総数:287人(回収率:77.8%)
- 配布人数:369人(平均17.6人/会場)



## 問 01 議会報告会の内容について(意見・要望)

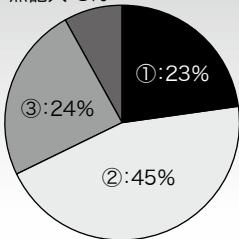
### 【主なもの】

- 資料の作り方を再検討されるべきで、もう少しわかりやすい方がよい。
- もう少し報告内容について検討してください。
- 議員と市民との間に認識のずれを感じた。
- 議会だより等ではわからない説明もあり、参考になった。
- 議員の直接の声での説明はわかりやすかった。続けてほしいと思う。

## 問 02 本日の議会報告会について

### ◎平成24年度予算等審議状況について

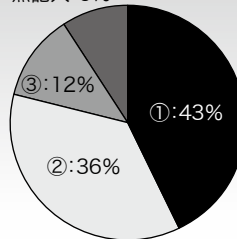
無記入:8%



設問	人数(人)
①わかりやすかった	67
②どちらともいえない	126
③わかりにくかった	70
無記入	24
合計	287

### ◎議員定数について

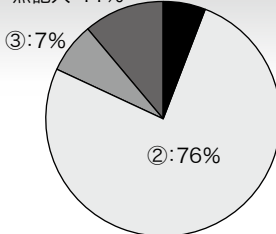
無記入:9%



設問	人数(人)
①わかりやすかった	122
②どちらともいえない	103
③わかりにくかった	35
無記入	27
合計	287

## 問 03 時間について

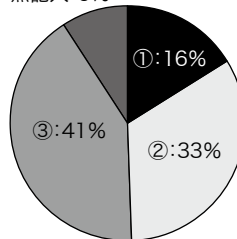
無記入:11%



設問	人数(人)
①長かった	18
②ふつう	217
③短かった	20
無記入	32
合計	287

### ◎庄原市と環境ベンチャー企業(株ジュオン)との共同事業について

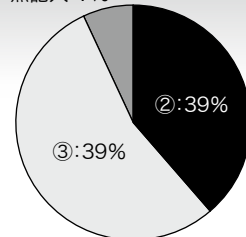
無記入:9%



設問	人数(人)
①わかりやすかった	47
②どちらともいえない	96
③わかりにくかった	118
無記入	26
合計	287

## 問 04 資料について

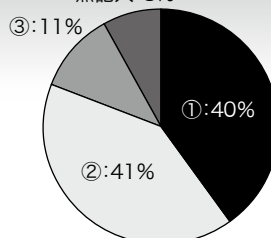
無記入:7%



設問	人数(人)
①多い	0
②ふつう	111
③少ない	157
無記入	19
合計	287

## 問 05 議会報告会の評価について

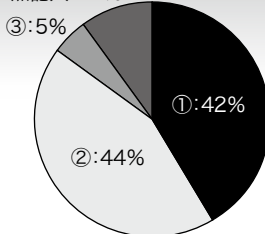
無記入:8%



設問	人数(人)
①評価する	115
②どちらともいえない	118
③評価しない	32
無記入	22
合計	287

## 問 06 議会報告会の回数について

無記入:10%



設問	人数(人)
①年1回	120
②年2回	125
③その他	13
無記入	29
合計	287

## 問 07 意見交換会でお気づきになった点、または、発言できなかった事項

### 【主なもの】

- 回答がはっきりしない。説明が長い。
- 議会ではなく、市議個人の返答が多い。
- 前回の議会報告会とあまり進展していない。
- 生の声での交換会は良かったと思います。できるだけ続けてください。
- かなりの人の発言があり意義があった。

## 問 08 庄原市議会についてのご意見

### 【主なもの】

- 議会の情報が全くわからない。選挙の時だけの顔見せのような気がする。
- 議会の権能を忘れている。
- 議会として、基本的な方向を確立すべき。
- 議員各位はしっかりと勉強すること。市長としっかりと対決する力を養ってもらいたい。
- 10年後、20年後の地域の未来図を見ながら活動してください。

～アンケートにご協力いただきありがとうございました。～

[平成24年]

6月

# 定例会

6月定例会は、6月13日から6月26日までの14日間の会期で開かれました。

庄原市職員の給与の特例に関する条例や平成24年度庄原市一般会計補正予算(第2号)など議案32件、発議3件を審議しました。

## 主な議案

議案第107号

### 庄原市職員の給与の特例に関する条例

職員の給与を時限的に減ずる特例措置をとるため、条例を制定するもの

この議案は、本年3月定例会に提案され否決となり、今定例会に再度提出された

#### ●反対討論

市財政の現状と将来を考慮して職員賃金の引き下げを提案されるなら、その前提として、市の財政計画、人件費に関する全体構想を提示され、提案

されるべきだ。

#### ●賛成討論

市を少しでも良くしよう、耐えるときは耐えようと英断され、労使の交渉で確認されたものを最大限尊重することに、反対する理由は見当たらない。

▽否決

### 指定管理者の指定について

- ① 管理を行わせる施設の名称
- ② 指定する団体等
- ③ 指定の期間

議案第115号

- ① 庄原市立庄原保育所
  - ② 株式会社 敷信村農吉
- 代表取締役 藤谷善久

③ 平成25年4月1日

平成30年3月31日(新規)

#### ●反対討論

公的保育を公的な直接責任で守り、若者に魅力ある安定した職場と子育て環境を充実させてこそ、若者を呼び込める魅力あるまちになる。他市の状況や全国の状況も振り返りながら、これからの保育全体がどうあるべきか見直す時期ではないか。これ以上の民営化は、近隣の状況から見ても行き過ぎだ。

▽原案可決

議案第116号

- ① 庄原市立(仮称)高野保育所
  - ② 社会福祉法人 高野会 理事長 小川益丸
  - ③ 平成25年4月1日
- 平成30年3月31日(新規)

▽原案可決

## 人事

人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて

西城町大佐

瀧口秀志氏

▽同意

### 工事請負契約の締結について(すべて原案可決)

議案番号	工事名	請負金額	請負業者
第99号	とうじょう自治総合センター(仮称)新築工事	6億2,055万円	清水・宮田建設工事共同企業体 代表者 清水建設株式会社広島支店 執行役員支店長 松井啓治
第100号	庄原市立庄原中学校(屋内運動場棟)改築工事	5億1,870万円	増岡組・長岡鉄工建設特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社増岡組広島本店 常務取締役本店長 平田啓二
第101号	庄原市立庄原保育所新築工事	6億8,460万円	小林建設株式会社・株式会社大歳組 庄原市立庄原保育所新築工事特定建設工事共同企業体 代表者 小林建設株式会社 代表取締役 小林茂樹
第102号	庄原市立(仮称)高野保育所新築工事	3億30万円	長岡鉄工建設・加島建設庄原市立(仮称)高野保育所新築工事建設工事共同企業体 代表者 長岡鉄工建設株式会社 代表取締役 糸谷康孝
第103号	庄原市高野観光交流ターミナル(道の駅)駅舎新築工事	3億2,025万円	大歳・藤元高野観光交流ターミナル特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社大歳組 代表取締役 大歳幹晴
第104号	庄原中学校敷地整備(第II期)工事	2億6,040万円	大歳・角栄特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社大歳組 代表取締役 大歳幹晴

# 6月定例会に提出された 補正予算



平成24年度庄原市一般会計補正予算(第2号)

**補正額** 4億9,320万8千円減額  
**補正後の総額** 310億9,841万8千円

## ● 主な内容

● 防犯関係事業費	<b>【258万7千円追加】</b>
貸出用防犯カメラ整備、LED防犯灯設置など	

● 国際友好都市交流事業費	<b>【106万5千円追加】</b>
中国綿陽市青少年訪問団歓迎会等経費	

● 保育所施設整備事業費	<b>【5億8,121万7千円減額】</b>
庄原・(仮称)高野保育所整備関係について、平成23年度予算に前倒して執行したため重複部分を減額するもの	

● 清掃総務事業費	<b>【423万6千円追加】</b>
東城し尿処理施設整備計画について、本年度に一般廃棄物処理基本計画を策定し、循環型社会形成推進計画の策定を平成25年度実施に繰り延べたことによるもの	

● 庁舎管理事業費	<b>【774万円追加】</b>
比和支所庁舎空調用ボイラー修繕工事など	

● 社会福祉総務事業費	<b>【975万5千円追加】</b>
安心生活創造事業経費など	

● 医療従事者育成奨学金貸付事業費	<b>【242万円追加】</b>
看護学生等の申請件数が当初より多く、増額するもの	

● 耕地推進事業費	<b>【1,009万6千円追加】</b>
農林施設整備補助金の申請件数が多く、増額するもの	

## 主な質疑

**問** 中国綿陽市からの青少年訪問団歓迎会等の経費について、財政状況がここまで陥っているのに、本当に106万5千円必要か。効果のない交流事業を続けてどうなるのか。

**答** 可能なかぎり経費については抑制できるものは抑制して取り組んでいく。協定を結んで事業を進めており、人材育成という視点では続けていくべきである。

**問** 医療従事者育成奨学金貸付事業について、今年度の状況は、いつから庄原で従事していただき、効果がでてくるのか。また、貸付計画はどのように立てているのか。

**答** 今年度は医学生1名、看護学生17名の応募があり、全員貸付決定した。全体では医師が4名、看護師等が56名。医師の場合、早くて3年後、看護師等は既に12名卒業し、う

ち11名が就職している。今後の計画については、本年度中に制度の実績を踏まえて検証作業を行い、今後の取り扱いについて方針を出していきたい。

**問** 農業生産法人育成事業に追加する523万6千円は、何法人へ交付されるのか。また、どういった内容であるのか。

**答** 10法人から要望が出されたが、設立年度や現在装備されている機械器具の状況などを勘案し、3法人を予算計上した。そのほかの法人からの要望については、平成25年度当初予算での予算計上をめざしたい。内容は、コンバインや米の光選別機といったようなものである。

庄原市議会では、多くの皆さんの傍聴をお待ちしています。



6月定例会のようす

●平成24年6月

# 定例会議決結果

会期

6月13日～6月26日

14日間

## 賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
6月13日	議案	98	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第1号))	承認
		99	工事請負契約の締結について[とうじょう自治総合センター(仮称)新築工事]	原案可決
		100	工事請負契約の締結について[庄原市立庄原中学校(屋内運動場棟)改築工事]	原案可決
		101	工事請負契約の締結について[庄原市立庄原保育所新築工事]	原案可決
		102	工事請負契約の締結について[庄原市立(仮称)高野保育所新築工事]	原案可決
		104	工事請負契約の締結について[庄原中学校敷地整備(第II期)工事]	原案可決
		105	市道路線の変更について	原案可決

議案第102号は、加島英俊議員除斥

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
6月22日	議案	108	庄原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		110	庄原市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
		111	庄原市営バス設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		112	庄原市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		113	庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
		114	庄原市子育て支援施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		117	町及び字の区域の変更について	原案可決
6月26日	議案	106	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて[瀧口秀志 氏]	同意
		118	平成24年度庄原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
		119	平成24年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		120	平成24年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	原案可決
		121	平成24年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		122	平成24年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		123	平成24年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		124	平成24年度庄原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		125	平成24年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		126	平成24年度庄原市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		127	平成24年度庄原市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		128	平成24年度庄原市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
		129	平成24年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案	発議	6	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	原案可決
		7	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
		8	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決

※藤木邦明議員欠席

賛否の分かれたもの

議決日	種類	番号	事件名	議決結果	議席		議員																								
					表決		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
					賛成(人)	反対(人)	徳永泰臣	福山権二	坂本義明	横路政之	林高正	中原巧	田中五郎	岡村信吉	名越峯壽	赤木忠徳	垣内秀孝	西村和正	竹内光義	藤山明春	藤木邦明	門脇俊照	小谷鶴義	宇江田豊彦	野崎幸雄	佐々木信行	八谷文策	谷口隆明	和田満福	加島英俊	平山俊憲
6月13日	議案	103	工事請負契約の締結について(庄原市高野観光交流ターミナル(道の駅)駅舎新築工事)	原案可決	22	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6月22日	議案	107	庄原市職員の給与の特例に関する条例	否決	10	13	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		109	庄原市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	21	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		115	指定管理者の指定について(庄原市立庄原保育所(新規))	原案可決	19	4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		116	指定管理者の指定について(庄原市立(仮称)高野保育所(新規))	原案可決	19	4	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

(表示例) ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職 棄…棄権

## 表彰

本市市議会議員が次のとおり表彰されました。  
ご功績をたたえ、今後のご活躍を祈ります。


**第130回中国市議会  
議長会定期総会**

開催日時 4月25日  
開催地 鳥取県米子市

- 議員特別表彰  
議員28年以上  
加島 英俊
- 議員20年以上  
和田 満福
- 議員12年以上  
谷口 隆明
- 正副議長特別表彰  
正副議長3年以上  
竹内 光義  
西村 和正
- 議員普通表彰  
議員8年以上  
名越 峯壽
- 一般表彰  
議員10年以上  
藤山 明春  
福山 権二

**第88回全国市議会議長  
会定期総会**

開催日時 5月23日  
開催地 東京都



受賞者を代表してあいさつをする加島英俊議員

## 意見書

6月定例会では、3件の意見書が可決され、国会や関係省庁に提出し、その実現を図るよう求めました。

**発議第6号**  
**B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書**

1. 肝炎対策基本法をもとに、必要な法整備及び予算化をすすめ、全患者の救済策を実施すること。  
ほか7項目

**発議第7号**  
**地方財政の充実・強化を求める意見書**

1. 医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、少子・高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、平成25年度地方財政計画を策定すること。  
ほか2項目

**発議第8号**  
**教育予算の拡充を求める意見書**

1. 少人数学級を推進し、その具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下とすること。  
ほか1項目

# 一般質問

6月定例会では、14名が一般質問を行いました。  
この記事は、要旨をまとめたものです。



日本一住みやすい、  
住みたい庄原市にするために



あかぎ ただのり  
赤木 忠徳 議員

## 問

①他市が行っている「第2子以降の保育料無料化」「若者世帯の住宅料金を一律1万円」「中学生までの医療費無料化」といったサービスを実施した場合、いくら必要となるのか。  
②本市も他市に負けない施策を実施すべきであるが、今後における可処分所得の拡大を実現し、住みやすい市にするための施策を伺う。

## 答

①平成23年度に交付した出産祝い金から第2子以降の児童数を600名と試算し、この保育料を無料化した場合の影響額は、年間1億3千万円となる。次に、若者世帯の住宅料金について、今年度の雇用促進住宅使用料収入見込みは3200万円であり、これを一律1万円の住宅料金として試算すると、1300万円となり、約2千万円が不足する。また、医療費の無料化を中学生まで拡充した場合、

公費負担は年間約2200万円となり、さらに現在5000円の一部本人負担額を無料とした場合は、約4200万円の公費負担となる。これら3つの施策を実施した場合は、年間で約1億9千万円程度必要である。

②可処分所得の拡大に寄与する本市独自の制度として、出産祝い金の支給・新婚世帯家賃・通勤支援補助・定住促進住宅使用料の軽減などを実施している。また、市内保育所・小中学校について、耐震診断結果に基づき、改築等により教育環境、子育て環境の充実に努めている。即効的な施策が見つからないのが実情であるが、補助制度や負担軽減に特化するだけでなく、総合的・効果的かつ横断的に子育て・教育・医療・定住などの各施策に取り組み中で、変化していく社会の行方を見据えながら制度の充実、更新を検討したい。



校舎耐震改修工事中の  
美古登小学校(西城町)

赤木忠徳議員のその他の質問

○工口化を進めよう

○臨時職員、嘱託職員の雇用安定を



# 一般質問



かどわき としてる 門脇 俊照 議員

## 備北丘陵公園の今後について

**問** この公園は本市の観光拠点となっており、本市の宝である。これまで以上の関わりを築く必要があると考えるが、市長の思いを伺う。

**答** 今年度から庄原市観光協会を含めて、定期的に協議をし、公園との連携、公園から市街地への回遊について検討している。この公園は本市にとって、なくてはならない宝であり、市民とともに歩いていく公園でなければならぬ。そのための具体的な取り組みとして、市内の事業者が公園内に定期的に出展できる仕組みづくり、地元小学生によるヒオトープ観察会への参加のほか、公園で行われる草花の植栽ボランティア参加者が、そこで習得したガーデニング技術を自宅で実践し、「さとやまオープンガーデン」で公開するなど、公園内外において市民を介した取り組みがなされている。公園に関心を持っていただき、

市民とともに育てていく公園として、これまで以上に公園管理センターと市民が連携して、市民の公園利用促進に努めていく。

## 今後の介護保険料について

**問** 右肩上がりの保険料に対して、市を挙げての抜本的な独自の抑制案はないのか。

**答** 市独自の抑制案とは言い難いが、次の3点の取り組みを推進することにより介護給付費の抑制に努めたい。①「庄原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」や、現在策定中の「庄原市健康づくり計画」を一体的に推進することにより、要介護認定者数の抑制や要介護度の重度化の防止に努める。②自治振興区を中心とした地域デイホームなど、高齢者を地域で見守るネットワークづくり等を強化し、地域ぐるみで助け合う共助の仕組みを推進する。③適正な介護給付を行うため、要介護認定等の適正化、ケアマネジメント等の適切化等の取り組みを継続強化する。

## 門脇俊照議員のその他の質問

○職員給与の特例に関する条例について



よころ まさゆき 横路 政之 議員

## 児童・生徒の安全対策について

**問** ①夏の熱中症から子どもを守るため、計測器を配備して未然に防ぐ対策を。

②全国で、登下校時の死傷事故が続いている。通学路の危険箇所の一層の安全対策を強化すべきでは。

**答** ①既に計測器を購入している学校もある。今後、機器の効果を検証し、全市的な措置について検討する。熱中症を防ぐために最も大切なことは、教職員が高い危機管理意識をもち、事前の予防法を講じることにも、児童生徒一人一人に熱中症に対する理解を深めさせることである。引き続き、保健指導等を通して、児童生徒に熱中症に関する知識と予防法を知らせ、日常生活の中で、自らが自分の体を守る力を育てていく。

②各地で発生した登下校の死傷事故を受けて、市教育委員会では、各校に対し通知文等により、さらなる安全確

認の徹底など注意喚起を促した。また、国においては対応策を検討され、本年5月30日付けで「学校の通学路の交通安全の確保の徹底について」全国の教育委員会等へ通知された。これによると、第一段階として、学校は、保護者等の協力を得て、通学路点検により交通安全の観点から危険箇所を抽出し、教育委員会に報告する。これを受け教育委員会は、学校、保護者、道路管理者、警察署による合同点検を実施し、対策の必要な箇所を抽出する。第二段階として、対策の必要な危険箇所について、道路管理者及び警察署との連携・協力により対策の実施につなげていくというものである。今後、具体的な取り組みを進めていきたい。



通学路に設置されたドライバーへ注意を呼びかける看板(西城町)

## 横路政之議員のその他の質問

○若者が暮らしやすい街へ  
○学校施設の非構造部材の耐震対策について  
○まちなかの活性化のために



なか ほん たくみ 巧 議員

総領町を通過する国県道の整備及び事業の中止された緑資源幹線林道支線高尾小坂線の代替事業の方向性について

問

①広島県道路整備計画の後期整備計画に総領町を通過する各路線は掲載されたのか。また、土木局所管事業の優先順位はどのようにになったのか。

②一般県道中領家庄原線の五箇及び田尻工区は今年度及び次年度以降どのように事業展開されるのか。

答

①総領町を通過する国県道の事業箇所別の実施計画では、平成26年度までに完成とするものが1カ所、継続して整備するものが3カ所、未着手となっているものが4カ所である。また、社会資本整備の優先順位では短期集中戦略の広域的な交流・連携基盤の強化として、1位が「港湾の広域」、2位が集客・交流機能の強化

とブランド力向上として「港湾の集客」となっており、道路関係では「広域的な連携」として中国横断自動車道尾道松江線などが8位となっている。

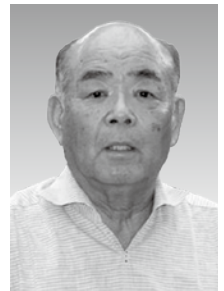
②五箇工区については、今年度の整備計画では広島県単独費により整備する予定となっており、次年度以降も、継続して整備促進が図られると考えられている。また、田尻工区については、緑資源幹線林道支線高尾小坂線の事業中止を受け、農林水産局と土木局の協議や市からの要望により、今年度、県は「改良再生事業」として部分的ではあるが予算付けされ、整備される。次年度以降も継続して整備促進が図られるよう、要望していきたい。



一般県道中領家庄原線道路改良工事(単独)のようす

中原巧議員のその他の質問

○東日本大震災に係る災害廃棄物の本市の対応について



やた ふう ぶん 文策 議員

庄原市と環境ベンチャー企業との共同事業について

問

①機械製作工場の立ち入り、入札状況のチェック等を行われたが、その際、職員はどのような検査を行い、市長への報告書の内容等はどのようなになっていたのか。

②市長は、目的どおりに予算執行することや正しい管理をすることに違反していると思われるがどうか。

答

①工場検査については、グリーンケミカル及び請負業者立会いのもと、納入仕様書に定めている機械機器について、数量の確認、図面に基づく外形寸法の検査、社内検査の確認を行うとともに、適宜機械設備の説明を受け検査を実施している。また、庄原工場への機械据付時の検査では、グリーンケミカル、請負業者立会いのもと試験運転を行い、仕様に基づいた能力検査を実施している。一方、入札状況のチェックは、入札願末や契約関係書類、

実績報告内容等の検査を行っている。検査員からの報告については、各機械についての検査日、整備状況、書類確認等をした結果、検査合格について、また、入札状況に関しては、グリーンケミカルからの入札願末書により報告を受けている。

②予算執行については、地方自治法に規定する市長の担任事務であり、議会で議決された予算を関係法令、条例規則等に基づき執行している。本事業についても、市では補助金適正化法等の関係法令及び市の補助金交付規則などに基づき適正に管理し、予算執行しており、違反しているとは思っていない。しかし、事業執行において、事業実施主体であるグリーンケミカルは補助金適正化法に違反する行為により起訴され、市としては、取消事由に基づき、事業取消を行う考えである。



バイオエタノール実証実験施設(是松町)

# 一般質問



はやし たかまさ  
林 高正 議員

## 地域担当職員制度導入について

**問** 要望の「承り役」行政から一歩出て、地域を「支援」するために、一定のエリアごとに行政職員を地域担当職員として配置する制度を提案する。

**答** この制度は、市職員が各地域の担当者として地域に出向き、まちづくりを支援するものである。本市においては、合併以来、各地域に自治振興区が組織され、自主的・主体的な地域づくりが行われている。市としても、自治振興区振興交付金などのほか、地域マネジャーや地域おこし協力隊員など国の制度を活用して、自治振興区の取り組みを支援している。また、これを支援するため、本庁及び各支所に自治振興係を設置、平成19年度からは、職員による「自治振興区応援隊事業」に取り組んでいる。しかし、これは十分に活用されていないため、より一層活用いただけるよう制度のさらなる周知と充実を図っていく。本市の地域づくりにおいて

ては、市民自らが主体的に活動する住民自治組織である自治振興区が、地域振興計画の策定、取り組みもされており、地域課題等の掘り下げもなされていると判断するため、現在のところ「地域担当職員制度」の導入は考えていない。

## グリーンケミカル(株)の補助金不正受給刑事事件等への対応について

**問** 執行者は、「6月を目途に調査を完了し、次の手続きに入る」と明言されたが、現在の状況はどのようになっているのか。

**答** 市は、地域バイオマス利活用交補助金適正化法に規定する善良な管理者の注意をもって補助事業等を行う義務により、グリーンケミカル及びジユオンが実施した全事業について調査している。調査は今年1月中旬から実施し、現在は調査した内容をさらに精査しており、6月いっぱいを目途にその作業を完了したい。調査完了後は、判明した事実により市補助金交付規則の規定に基づき、事業取消補助金返還命令を行う予定である。なお、その時期については、全事業調査完了後、中国四国農政局と協議し、早期に実行するよう考えている。



とくなが ひろまさ  
徳永 泰臣 議員

## 若者定住促進について

**問** 若者たちが安心して暮らせ、子どもを産み育てられる環境を整備し、若者世代の定住を図り、人口減少に歯止めをかけるための施策について伺う。

**答** 「新規就農者育成事業奨励金」制度や国の「農の雇用事業」の活用により、農業をめざす方への支援の取り組みや、ハローワーク庄原と連携しながら「合同就職面接会」や「北部地域合同就職面接会」を開催している。今後は、中国横断道尾道松江線の開通を見越し、木材などの地域資源を活用する企業のほか、本市への立地がメリットとなる企業を絞り込み、アプローチするなど誘致活動を展開していく。また、新たな取り組みとして、庄原商工会議所や各商工会などの関係団体と連携し、

業種を越えた情報交換の場を設け、それぞれの企業の独自の技術や特徴を生かした商品開発による事業拡大など、雇用創出に向け取り組みたい。

②現在、本市では、定住促進住宅を8団地49戸供給している。入居者の家賃負担は借上料の約8割として設定し、収入に応じた応能家賃を設定するなど、負担軽減を図っている。また、民間賃貸住宅に居住する新婚世帯を対象に、新婚世帯家賃支援補助を実施している。補助金交付時のアンケート調査では、本事業が市内へ住居を置くきっかけとなったという答えも多い。今後は、交付対象者が、市内へ定住されているか追跡調査を行いながら、定住促進プロジェクト事業の検証と合わせ、若者定住の住宅環境対策を検討する。



定住促進住宅(中本町)



にしむら かずまさ  
西村 和正 議員

企業誘致など地域経済の活性化に向けた取り組みについて

**問** 尾道松江線の開通を新たなビジネスチャンスと捉え、地場産業の育成や新たな産業を起こし、地域経済の拡大・発展、雇用の創出を図るべきと考えるが伺う。

**答** 広島経済同友会地域経済委員会から発表された「都市圏を結び高速自動車網を活用した広島県経済の振興方策」では、農林業、観光業などのマーケットが、尾道松江線の開通により拡大すると予測され、中でも農林業の経済効果は高く、次に観光業等が増加すると報告されている。基幹産業である農林業では道路整備による時間短縮で、愛媛県や、備後地区、出雲・松江市方面への取引増加が期待されている。また、農業・観光事業では「庄原市高野観光交流ターミナル(道の駅)」を整備し、地域資源を活用した農産物などの販売、観光プラットフォーム

ムとしての情報発信機能による交流人口の増加をめざしている。さらに、高野地域をモデルとして取り組む未来創造事業では、特産品開発や着地型観光事業を市民と協働により実施し、新たな価値の創造に取り組んでいる。今後未来創造事業の成果を全市に普及させ、農業・林業・観光を中心に、既存産業の育成と新規産業の創出・企業誘致による地域経済の活性化を図っていききたい。

広島県起業の道整備交付金事業(河内高野線)の促進について

**問** 高野地区から河内地区までの林道整備区間の事業計画はどのようになっているのか。

**答** 「ふるさと林道緊急整備事業」として、平成11年度から約3.3キロメートルを計画実施され、平成22年度から道整備交付金事業として、引き続き、平成28年度を完成目標年度として施工されている。平成23年度末までの状況については、全体3.3キロメートルのうち約1キロメートルを完成し、残り約2.3キロメートルが未改良となっており、早期完成を広島県に要望している。

西村和正議員のその他の質問  
○防災対策について



なごし むねとし  
名越 峯壽 議員

林業振興について

**問** ①国産材価格が低迷している今日、再造林したくても補助金だけでは自己負担が多くて困難である。「東城町森林再生協議会」は自主的に再造林対策を進められている。再造林・保育林対策を、国県に対して強く要望するべきだと思いが、市の対応を伺う。

②市内木材活用を普及するために、増改築に対して、奨励金だけでなく、木材製品の現物支給をするべきと思うが、考えを伺う。

**答** ①造林の補助金について、再造林についての補助に変更はないが、間伐については平成23年度より保育間伐主体から搬出間伐主体へと方針が変更された。平成23年11月に全国市長会から、再造林・保育林について支援を行うことなどを国に対し要望し、保育林の支援として、新たに平成24年度から、森林経営計画等に基づいた場合は、平均胸高直径18センチメートル未満の

除伐が補助対象となった。また、本市の場合、搬出間伐が困難な地域が多く、保育林対策の一つである切捨て間伐は必要な施策であることは十分認識している。「ひろしまの森づくり事業」では、15年間未整備の人工林が間伐の要件となっていたが、今年度から、そのうち保安林については10年間未整備に短縮された。保安林以外についても期間の短縮を、県に対し要望していききたい。

②市内木材の普及については、「地域木材住宅建築普及奨励金」の制度を活用していききたい。さらなる普及のためには、提案のように、森林組合などで、地域の原木を含む木材製品の提供など、消費者が入手しやすい仕組みを検討することも必要である。本年度策定する林業振興計画の中でも、地域材の普及、利用促進について検討を行う必要がある。さらに、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が、平成22年10月1日に施行されており、今年度早期に、本市の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を策定することとしている。これらの取り組みを通じ、地域材の普及を図っていききたい。

名越峯壽議員のその他の質問  
○固定資産税の評価について

一般質問

**問** 庄原市の観光スポットとして、観光施策の中で、どのように位置づけているのか。

**答** 庄原市上野総合公園は、上野池、上野総合公園陸上競技場を含む広域な都市公園であるが、その中でも上野池周辺の、通称上野公園においては、四季おりおりの風景が、市内外から観光客を誘っており、庄原地域における主要な観光地の一つであり、また、朝夕の散歩や魚釣りなど、気軽に健康づくりやスポーツができる市民の憩いの場ともなっている。毎年4月1日から9月の間は、桜まつりが開催され、夏は花火大会そのほかにも、しほつばら夢ほたるが実施する冬の上野公園ライトアップ事業がある。以上のとおり、春の桜、夏の花火、冬のイルミネーションは、庄原地域の観光イベントとして位置づけられており、他のイベント等とからめると、より多くの集客に取り組んでいきたい。



よしあき 義明 議員

庄原上野公園の今後について



庄原市上野総合公園(東本町)

庄原地域の齋場整備計画について

**問** 三次市、安芸高田市と建設されているが、本市の整備計画としては、何年ごろになるのか。

**答** 庄原地域の齋場の整備は、長期総合計画・後期実施計画に基づき、平成27年度の工事完成を予定している。総事業費は現地建て替えを前提として、約4億5千万円を計画している。今年度中に本市全体の齋場整備計画を策定し、庄原地域の整備計画をまとめたい。



ふくやま けんじ 福山 権二 議員

ジュオン問題の事業管理について

**問** (株)ジュオン等の経営者を補助金適正化法違反で告訴することになったが、市行政のチェックに甘さがあつたとの市長見解を具体的に説明されたい。

**答** この事件に関して、甘さがあつたかと発言した真意は、具体的に甘かった部分があると認識して発言したのではなく、関係法令や条例に沿って手続きを進めたにもかかわらず、不正を見抜くことができなかったことから、そのような発言になった。チェック体制については、市の直接事業なら諸規程やマニュアルなどの明文化されたルールにより細かく監視していくことは可能である。一方で、本事業はグリーンケミカルが補助事業として実施するもので、市は間接的にしか関与しないことから、結果として不正を見抜けず、このような事態を招いたのではないかと考えている。

ジュオン問題の総括視点について

**問** ジュオン問題は、市長による行政執行が、この件に限り一部の部局に特命され、市行政の総合力を集めた推進となっていないことが主因ではないか。

**答** 市の事務及び事業の遂行は、地方自治法に基づき、市行政組織条例を定め、市長の権限に属する事務を分掌させるため、課を設置し、それぞれの施策を適正かつ能率的に遂行させるため、市行政組織規則によりそれぞれの課に事務・事業を担当させている。このジュオン関連の事業に限って、特定の組織の一部に決定・推進権限を限定させたという認識はない。また、このジュオンの事業についても、他の政策と同様のプロセスにより推進しており、市長の独断により推進したという認識はない。



グリーンケミカル株式会社(是松町)



こ だに つる よし  
小谷 鶴義 議員

**グリーンケミカル株破綻後の新スポンサー企業の見通しと時期について**

**問** 新スポンサー企業について、市職員は調査・検討をしているのか伺う。

**答** 市では、スポンサー候補と緊密な連携をもとに事業継続実現に向けて協議を進めている。なお、スポンサー候補は、プラスチック製造業で、同業種の中でも売上高順位が上位にランクされており、優良な企業であると判断している。

**グリーンケミカル株に売却した用地について**

**問** ①グリーンケミカル株へ売却した用地は、銀行の担保に入っているとのことだが、金額はいくらか。②また、土地が担保に入っていることは、

次なる企業の事業再開に向けて支障はないのか伺う。

**答** ①市は、庄原工業団地の土地、6855平方メートルを平成20年1月20日に分譲している。この土地へ金融機関の担保が設定されているが、担保金額については、現在の状況にあってもなお、法人情報であり、情報保護の観点から公にすることは適当でないと考えている。  
②事業継続には財産の取得が必要で、抵当権者とスポンサー候補が協議を行い、取得価格について合意する必要がある。これまででも双方で調整されている。



議員全員協議会のようす(7月23日)

小谷鶴義議員のその他の質問

○農林振興公社の運営する八木店の今後について  
○TPP問題に対する農業委員会としての考え方について

**グリーンケミカル株の補助金不正受給問題の解決を**



たに ぐち たか あき  
谷口 隆明 議員

**問** ①今でも事業継続をめざす考えなのか。  
②市長が言われる「市民が納得できる収拾」とは、どのような内容を想定しているのか。  
③一日も早く事業中止と補助金返還命令を出し、市長の事務執行における責任も明確にして対応しないと、裁判も争えないし、市民の理解も得られないのではないか。

**答** ①スポンサー候補とは、この5月にも協議を行っており、民事再生が不可能となった現在でも木粉を使った樹脂原料の工業製品化に強い意欲を持っておられる。市が当初めざした、木質バイオマスを有効活用した林業振興や地域の活性化という事業目的の達成のためにも、スポンサー候補には、事業継続をしてほしいと考えており、連携・協力していきたい。

②一つとしては、事業実施主体への事業取消と、補助金返還を行うことである。市が現在行っている、グリーンケミカルなどが実施した全事業調査完了後、中国四国農政局と協議し、早期に市から事業実施主体に対する事業取消、補助金返還命令を行う予定である。もう一つは、スポンサー候補による事業継続である。事業継続については、スポンサー候補は、現在、このプラントを有効活用し、木粉を使った樹脂原料の工業製品化に強い意欲を持っておられる。市が当初めざした木質バイオマスを有効活用した林業振興や地域の活性化という事業目的の達成のためにも、スポンサー候補には事業継続を実現していただきたく、その道筋を連携協力して付けていきたい。

③事業中止と補助金返還命令の時期については、市において、現在、グリーンケミカル等が実施した補助事業の全事業調査の目途を6月いっぱいとし、その結果をもって、中国四国農政局と協議を行い、早急に事業取消と補助金返還命令を行うよう鋭意努力している。市長の責任については、しかるべき時期に、自分自身が判断することであると考えている。

谷口隆明議員のその他の質問  
○地元中小企業の振興について  
○震災がれきの広域処理について

一般質問

**答** 市では、高速情報通信網整備のため、平成20年度からDSL、無線LAN、衛星ブロードバンドと市内全域で整備を行っており、民間事業者が行っているADSLや、データ通信の普及とあわせて、インターネットの環境整備は、ほぼ整っている。しかし、急速な情報通信技術の発展は、超高速・大容量のデータ通信を必要とするシステムを普及させ、これまでの高速情報通信網では対応しきれない状況である。そのため市では、昨年9月に住民や

**問** 市民説明会が開催されたが、「一部地域のみでの整備ではいけない。当初から全域の整備をすべき」との意見が一番多く出されたと聞いている。今回の整備計画の方針では、とりわけ商工業振興に重きを置き、産業振興の具体的目標を明らかにして市民説明をすべきではなかったかと考えるがどうか。

超高速情報通信網整備と商工業振興について



う え だ と よ ひ こ  
宇江田豊彦 議員

事業所に対しアンケート調査を実施し、この結果をもとに、超高速情報通信網整備についての方向性を、昨年11月に示した。その後本年2月に、市内7地域で市民説明会を開催し、63名の参加をいただいた。この説明会においては、「一部地域のみでの整備ではいけない。当初から全域を整備すべき」との意見が多くあった。しかし、他にも「現状では今の方向性で仕方がないが、将来的には全域を整備すべき」、「現在のインターネット環境で十分であり、整備は必要ない」などの意見もあり、多様な考え方があることを認識した。「より具体的な目標を明らかにして市民説明をすべきではなかったか」との指摘について、説明会において方向性は説明させていただいた。しかし、事業の具体化は今後段階を踏んで行っていくものであり、具体的な事業目標までの説明はしていない。今後、市民が参画する検討会議を設け、事業の内容や公益性など十分な審議をいただき、その検討結果をもとに事業決定をする予定であり、その中では、具体的目標も示して論議をいただきたい。

宇江田豊彦議員のその他の質問  
○庄原市環境ベンチャー企業シユオンが進めた共同事業の成果と課題について

議会の動き [5・6・7月]

5月

- 7日 議会広報委員会  
教育民生常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 14日 産業建設調査会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 産業建設調査会
- 21日 教育民生調査会
- 22日 議会改革特別委員会  
議会運営委員会
- 28日 議員全員協議会  
産業建設常任委員会

6月

- 4日 議会運営委員会
- 5日 議員全員協議会  
教育民生調査会
- 6日 議会運営委員会
- 8日 総務財政常任委員会
- 12日 議会改革特別委員会

6月

- 13日 第3回市議会定例会 初日  
議会運営委員会
- 15日 総務財政常任委員会  
教育民生常任委員会  
産業建設・教育民生連合審査会
- 19日 第3回市議会定例会 2日目
- 20日 第3回市議会定例会 3日目
- 21日 第3回市議会定例会 4日目  
議会運営委員会
- 22日 第3回市議会定例会 5日目  
総務財政常任委員会  
教育民生常任委員会  
産業建設常任委員会
- 26日 議会運営委員会  
第3回市議会定例会 6日目  
議員全員協議会  
議会広報委員会
- 28日 議会改革特別委員会

7月

- 2日 議会報告会 ~20日
- 3日 議会運営委員会
- 10日 議会改革特別委員会
- 11日 教育民生常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 北部ブロック議員研修会
- 23日 議員全員協議会  
総務財政調査会  
産業建設調査会
- 24日 教育民生常任委員会 ~25日  
行政視察
- 26日 教育民生調査会  
教育民生常任委員会
- 30日 議会運営委員会

【行政視察受入状況】

- 7月12日 兵庫県朝来市議会庁舎整備調査特別委員会(庁舎建設)
- 7月24日 滋賀県甲賀市議会総務常任委員会(庁舎建設)
- 7月26日 北海道北広島市議会新庁舎建設調査特別委員会(庁舎建設)

# 広島県市議会議長会 北部ブロック議員研修会

7月18日、庄原市帝釈峡博物展示施設時悠館（東城町）において、三次市議会、安芸高田市議会、庄原市議会の議員69名が集まり、研修会を開催しました。



講演のようす

今日の社会の仕組みは歴史の積み重ねの上でできあがったものであり、地域が現在抱えている問題などを考える上で必要となる見識を広く養うことを目的とし、『帝釈縄文人と出会う、一万年の旅』と題して、中越利夫所長より帝釈峡遺跡群をはじめとする調査の歴史、資料を展示・保存する意義などについて講演をいただきました。

## 時悠館の紹介

「時悠」とは、はるかに限りなく遠い時を意味し、この施設には帝釈峡遺跡群の遺跡や出土品、縄文時代の岩陰住居の復元、帝釈峡遺跡群の調査の歴史、縄文・弥生時代のくらしの復元、帝釈峡の森や峡谷にみられる石灰岩地帯特有の動植物などが展示されています。

## 編集後記

今年の梅雨前線も北九州各地を中心に大きな犠牲と被害をもたらしました。心からお見舞いを申し上げます。庄原市内でも道路・河川・農業用施設など多くの被害が発生しました。災害に強い地域づくりと迅速な復旧工事を望むものです。

今年で2回目となる議会報告会が終わりました。市内21会場で延べ369人の参加をいただきました。最初のご挨拶がとうございました。最初の説明も資料もわかりにくかったとの声が多くありました。議員・議会に対する忌憚のないご批判とご意見も

たくさんいただきました。これが今の私たち議会議員の実態です。開かれた議会に向かってやっとならねばなりません。我々の任期は半年余りになりましたが、説明責任の求められる課題は山積したままです。まさに正念場です。議員活動の原点を再確認し、議員全員が心一つに前進できるかどうか問われています。

議会広報委員会  
委員長 門脇 俊照  
副委員長 谷口 隆明  
委員 福山 権二  
赤木 忠徳  
竹内 光義

## 9月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
9月5日(水)	本会議、決算審査特別委員会ほか
9月6日(木)	決算分科会
9月7日(金)	決算分科会
9月10日(月)	決算分科会
9月19日(水)	本会議(一般質問)
9月20日(木)	本会議(一般質問)
9月21日(金)	本会議(一般質問)
9月25日(火)	本会議、決算審査特別委員会
9月28日(金)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。詳しくは議会事務局(TEL 0824-73-1162)へお問い合わせください。本会議は、いずれも午前10時からの予定です。